

第2回 能登半島絶景海道の 創造的復興に向けた検討会

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 能登地域のニーズと取り組みの方向性 | P 2 ~ 1 2 |
| (2) 考えられる取り組み (案) | P 1 4 ~ 2 4 |
| (3) 取り組みスケジュール (案) | P 2 6 ~ 2 7 |

令和7年5月16日

○能登半島絶景海道の概要

里山里海や観光地、震災遺構が
点在する半島沿岸部において、
国道249号や県道大谷狼煙飯田線
などの周遊道路（延長：約250km）
を「能登半島絶景海道」として整備
（石川県創造的復興プランより）

- ・ 珠洲市
- ・ 能登町
- ・ 志賀町
- ・ 羽咋市
- ・ 輪島市
- ・ 穴水町
- ・ 七尾市



能登半島絶景海道想定エリア
(地理院地図をもとに作成)

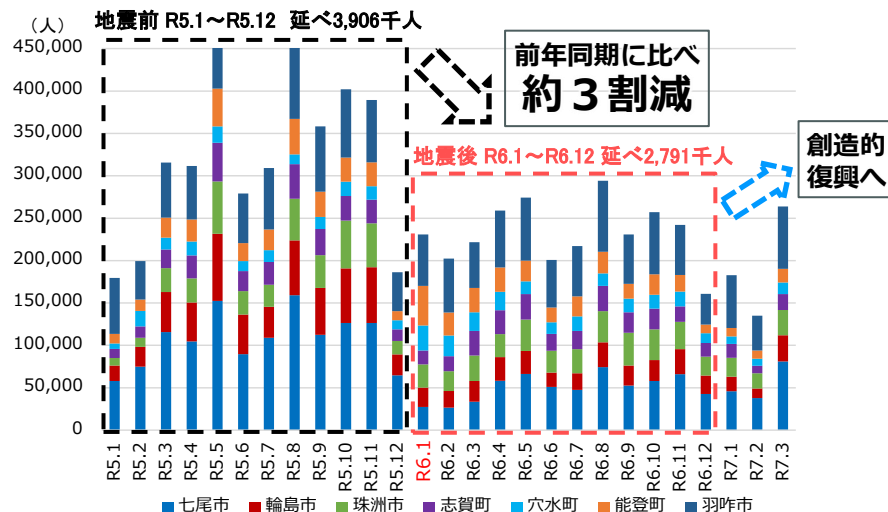
(1)能登地域のニーズと取り組みの方向性

○能登半島絶景海道の創造的復興に向けた4本柱

【能登の現状】

- ・ 能登 4 市 3 町の来訪者が約 3 割減

能登 4 市 3 町の来訪者数推移



※デジタル観光統計オープンデータ

(<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/jigyuu/research/d-toukei>)を加工して作成(R7年5月作成)

- ・ 観光資源の風景が変化



崩落した窓岩（輪島市）

- ・ いくつかの「道の駅」で時短営業や不定期営業



「道の駅」すずなり
(珠洲市)



「道の駅」千枚田ポケットパーク
営業再開(輪島市)

- ・ いしかわ里山里海サイクリングルート
の被災箇所は順次復旧



(1)能登地域のニーズと取り組みの方向性

○能登半島絶景海道の創造的復興に向けた4本柱

【能登の現状】

- ・ 日本風景街道「奥能登絶景海道」（能登半島の先端部を周遊するルート）及び
いしかわ風景街道「能登地域」が指定

「奥能登絶景海道」のルート



いしかわ風景街道「能登地域」のルート



③木ノ浦(珠洲市)



⑩千畳敷(能登町)

[写真出典：石川の道の駅ガイドマップ]

【能登半島絶景海道の創造的復興に向けた4本柱】

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

2. 人が集まる「道の駅」へ

3. 能登を自転車でライド！

4. 風景街道が“おもてなし”

(1)能登地域のニーズと取り組みの方向性

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

県・市町の復興計画における位置づけ

	関連する方針	事業内容等
石川県	・ 新たな視点に立ったインフラの強靱化	⇒ 半島沿岸部の周遊道路を「能登半島絶景海道」として整備 等
	・ 奥能登版デジタルライフラインの構築	⇒ ドローンや自動運転車等のモビリティ・ハブの整備 等
	・ 震災遺構の地域資源化に向けた取り組み	⇒ ジオパークなど震災遺構の地域資源化 等
珠洲市	・ 市民生活を支える公共施設の強靱化	⇒ 周遊道路を絶景海道として整備 等
	・ 芸術（アート）を活用した魅力づくり	⇒ 奥能登国際芸術祭やアートを柱とする各種ツーリズムの推進 等
輪島市	・ 地域の伝統文化や自然景観等観光資源の再興	⇒ 観光産業の復興 等
	・ 防災力の向上と次世代への継承	⇒ 災害の記録・記憶の伝承 等
能登町	・ 祭りや文化財の再建	⇒ 祭りの再開・継承、文化財の復旧 等
	・ 能登町ブランドの開発とPR	⇒ 食文化の魅力発信 等
穴水町	・ 記憶の伝承	⇒ 災害の記録や復旧状況等を継承する施設整備 等
	・ 町の魅力の再発見及び新たな魅力の創出	⇒ 観光バスが通行できる道路及び海岸線の整備の推進 等
志賀町	・ 地域ブランドの価値向上	⇒ 能登の里山里海の効果的な活用 等
七尾市	・ 交流人口の拡大	⇒ 観光地域づくりの推進 等
羽咋市	・ 地域経済を復興する	⇒ 観光産業の再生と強化 等

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

■ 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた調査結果 及び 検討会での意見

【震災遺構関連】

- ・ 隆起した海岸等の絶景を楽しめる立ち寄りスポットが必要
- ・ 地震後の風景（新たなジオスポット等）の調査が必要
- ・ 震災にまつわる品を積極的に収集・保存し、イベント等で活用すべき
- ・ 震災遺構の保存は、住民の理解、維持管理、伝承の継続等の課題があり、慎重に選定すべき



約4m隆起した鹿磯海岸
(写真:のと海洋ふれあいセンター)

【ドローン関連】

- ・ 空飛ぶ車の試行などの取り組みが必要
- ・ ドローン構想の実現は、中長期的な計画として推進すべき

【その他】

- ・ 国道249号から観光資源へのアクセス路も対象として検討するべき
- ・ 新たな絶景等の人が集まる場所に駐車場の整備が必要
- ・ 風景・食・文化・祭りを掛け合わせて考えるべき
- ・ 来訪者の目印として、標識や案内看板に“ロゴマーク”や“キャッチフレーズ”を入れると良い



空飛ぶ車ドローン（EH216S）
(写真:ドローン物流事業パンフレット
一般社団法人SkyMobilityJAPAN)

関連計画や検討会での
意見等を踏まえ・・・

■ 取り組みの方向性

1-1. 震災によって出現した新たな資源の活用

1-2. 周遊観光につながる取り組みの推進

2. 人が集まる「道の駅」へ

■ 県・市町の復興計画における位置づけ

	関連する方針	事業内容等
石川県	・ 新たな視点に立ったインフラの強靱化	⇒半島沿岸部の周遊道路を 「能登半島絶景海道」として整備 等
	・ 利用者目線に立った持続可能な地域公共交通	⇒地域公共交通のり・デザイン（再構築） 等
珠洲市	・ 市民生活を支える公共施設の強靱化	⇒「道の駅」の強靱化 等
輪島市	・ 都市の将来像を念頭に置いた市街地の再生	⇒「道の駅」の機能強化 等
能登町	・ 観光業等の再建	⇒地域観光資源の再生、受入体制整備に 向けた「道の駅」の整備 等
穴水町	・ 穴水駅周辺の再生	⇒穴水駅舎及び周辺施設（駐車場や 宿泊施設、観光案内所など）の再整備 等
志賀町	・ 地域ブランドの価値向上	⇒とぎ海街道周辺の再整備 等
	・ 事業の再建支援	⇒物産品の販売支援 等
七尾市	・ 地域産業の再生・振興	⇒食祭市場など拠点施設の活用促進 等
羽咋市	・ 地域経済を復興する	⇒地域経済の活性化、賑わいの創出 等
	・ インフラを迅速に復旧・強靱化する	⇒公共施設の復旧及び改修等による強靱化 と機能強化 等

2. 人が集まる「道の駅」へ

■ 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた調査結果 及び 検討会での意見

【ハード整備関連】

- ・ 内浦～能登島に駐車スペースが少ないため、新たな整備が必要
- ・ 「道の駅」等の施設を拠点にサイクリストの受け入れ環境の整備を検討すべき
- ・ 道路と空（ドローン）を連動させるために、「道の駅」や寄り道パーキングへのドローンポート整備を検討すべき

【ソフト施策関連】

- ・ 「道の駅」を拠点とした電動アシスト自転車による周遊の検討が必要
- ・ 能登半島絶景海道の日本風景街道への登録に向けて、「道の駅」との連携が必要



「道の駅」と寄り道パーキングの立地状況

関連計画や検討会での
意見等を踏まえ・・・

■ 取り組みの方向性

2-1. 施設の復旧・再整備と各種サービス機能の拡充

2-2. 「道の駅」のネットワークを活用した事業の展開

3. 能登を自転車でライド！

■ 県・市町の復興計画における位置づけ

	関連する方針	事業内容等
石川県	・ 新たな視点に立ったインフラの強靱化	⇒半島沿岸部の周遊道路を 「能登半島絶景海道」として整備 自転車走行空間の整備 等
珠洲市	・ 市民生活を支える公共施設の強靱化	⇒周遊道路を絶景海道として整備 等
輪島市	・ 地域の伝統文化や自然景観等観光資源の再興	⇒里山里海や観光地、震災遺構が点在する 海岸沿いでのサイクリングルート整備 等
能登町	・ 観光業等の再建	⇒サイクリングルート整備
穴水町	・ 公共交通機関や新たな交通手段の整備	⇒二次交通の機能強化の推進 等
志賀町	・ 観光地域づくり体制強化	⇒能登半島国定公園を活かした サイクルツーリズムの導入 等
七尾市	・ 交流人口の拡大	⇒周遊サイクリングロードの整備促進 等
羽咋市	・ インフラを迅速に復旧・強靱化する	⇒地域公共交通の確保 等

3. 能登を自転車でライド！

■ 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた調査結果 及び 検討会での意見

【サイクルルート関連】

- ・ いしかわ里山里海サイクリングルートのナショナルサイクルルート指定に向けて、**基幹ルートの検討**が必要
- ・ 道路の復旧、復興において別線ルートとなる場合は、**旧道を自転車ルートとして活用**の検討が必要

【「道の駅」との連携関連】

- ・ 「道の駅」を拠点とした**電動アシスト自転車による周遊**の検討が必要
- ・ 「道の駅」等の施設を拠点に**サイクリストの受け入れ環境の整備**を検討するべき

【その他】

- ・ **トレイルやバイクツーリングイベントにも考慮**した絶景海道の検討が必要
- ・ 来訪者の目印として、標識や案内看板に**“ロゴマーク”**を入れると良い

関連計画や検討会での
意見等を踏まえ・・・

■ 取り組みの方向性

3-1. 安全・安心・快適な自転車の走行に向けた環境整備

3-2. 魅力的なサイクリングエリアの形成



4. 風景街道が“おもてなし”

■ 県・市町の復興計画における位置づけ

	関連する方針	事業内容等
石川県	・復興プロセスを活かした関係人口の拡大	⇒行政・地域・企業等の様々な主体による能登半島全体での交流・関係人口の拡大 等
	・新たな視点に立ったインフラの強靱化	⇒半島沿岸部の周遊道路を「能登半島絶景海道」として整備 等
	・能登半島国定公園のり・デザイン	⇒能登半島国定公園の拡張 等
	・トキが舞う能登の実現	⇒トキをシンボルとした地域活性化 等
珠洲市	・観光産業の再建	⇒広域観光の取り組み強化 等
	・世界農業遺産など「珠洲ブランド」の価値向上	⇒里山里海の保全・活用、トキ放鳥に向けた環境整備等
輪島市	・地域の伝統文化や自然景観等観光資源の復興	⇒観光産業の復興 等
	・農林水産業（里山里海）の復興	⇒トキ放鳥受入に向けた整備 等
能登町	・能登の里山里海の保全	⇒能登の里山里海の景観保全、トキ放鳥に向けた環境整備 等
穴水町	・町の魅力の再発見及び新たな魅力の創出	⇒新たな観光コンテンツづくり 等
志賀町	・地域ブランドの価値向上	⇒トキとコウノトリをシンボルとした地域活性化の推進 等
	・観光地域づくり体制強化	⇒能登半島国定公園を活かしたサイクルツーリズムの導入 等
七尾市	・持続可能なまちづくり	⇒トキと共生する里地づくりの推進 等
羽咋市	・地域経済を復興する	⇒農林水産業の再建、地域経済の活性化 等

4. 風景街道が“おもてなし”

■ 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた調査結果 及び 検討会での意見

【日本風景街道登録に向けて】

- ・ 日本風景街道の20周年（2027年）に向けて新たな登録を目指してはどうか
- ・ 能登半島絶景海道の日本風景街道への登録に向けて、「道の駅」との連携が必要
- ・ 能登半島絶景海道想定エリアは、総延長距離が長い（約250km）ため、エリア分けを検討するべき
- ・ 石川県景観計画の内容と整合を図るべき



堂ヶ崎(珠州市)
(写真: 石川県創造的復興プラン)

【新たな取り組み、観光資源関連】

- ・ ジオパークや国定公園の拡張、2026トキ放鳥など様々な取り組みが必要
- ・ 隆起した海岸等の絶景を楽しめる立ち寄りスポットが必要
- ・ 震災後の風景（新たなジオスポット等）の調査が必要
- ・ 地域住民や地域活動団体等を巻き込み、継続して地域が盛り上がる仕組みが必要
- ・ 民間を巻き込んだ周遊観光を検討するべき



白米千枚田(輪島市)
(写真: 石川県創造的復興プラン)

関連計画や検討会での
意見等を踏まえ・・・

■ 取り組みの方向性

4-1. 震災や復興に向けた取り組みを伝える海道の整備

4-2. 地域住民等の多様な主体と連携した取り組みの展開

(1) 能登地域のニーズと取り組みの方向性 P 2 ~ 1 2

(2) 考えられる取り組み (案) P 1 4 ~ 2 4

(3) 取り組みスケジュール (案) P 2 6 ~ 2 7

1-1. 震災によって出現した新たな資源の活用

ソフト面

・新たな絶景、震災遺構の発掘

海岸隆起などで景観が変化した箇所を新たな絶景スポット、姿が変わってしまった名所などは震災遺構として、能登の新たな魅力の情報発信を行います。

◆能登絶景美岩の選定(例:ゴジラ岩、窓岩(ハート岩)、トロロ岩、機具岩、カエル岩、能登双見岩 等)



ゴジラ岩【珠洲市】



窓岩(ハート岩)【輪島市】



トロロ岩【輪島市】

東日本大震災では、被災した建物をそのまま残す他に、復興のために使用した建造物も震災遺構として残してあります。

能登半島地震においても、現在復興工事で使用している建造物を残すことを検討していきます。



ベルトコンベア跡(岩手県陸前高田市)

【その他の取り組み案】今しか見られない能登ツアー開催支援、奥能登国際芸術祭の開催支援
震災前後を比較できるコンテンツの検討 等

1-1. 震災によって出現した新たな資源の活用

ハード面

・絶景を眺望できるパーキング等の整備

地震で被災した寄り道パーキングの復旧工事に
加えて、新たな絶景スポットや震災遺構について、
集客スポットとしての整備を行います。



新たな風景（隆起海岸等）を
眺望できるパーキング

新たなパーキング等の整備イメージ

・奥能登「空の駅」の整備支援(ドローンタクシー構想)

ドローンによる物流ネットワークの構築や、ドローンタクシー・空飛ぶ車の実現などの拠点と
なる奥能登「空の駅」の整備を支援します。



空飛ぶ車ドローン（EH216S）

(写真:ドローン物流事業パンフレット_一般社団法人SkyMobilityJAPAN)

1-2. 周遊観光につながる取り組みの推進

ソフト面

・能登半島絶景海道キャッチフレーズ・ロゴマークの設定

周遊観光、「道の駅」、サイクルツーリズム、風景街道などのあらゆる取り組みにおける共通のキャッチフレーズ・ロゴマークを設定し、能登半島絶景海道全体の一体感を醸成します。

【キャッチフレーズイメージ】

- ・最高の海景色と巡り逢う道 “能登半島絶景海道”
- ・美しい海景色へ誘う特別な道 “能登半島絶景海道”
- ・新たな魅力へ誘う “能登半島絶景海道”



能登半島絶景海道ロゴマークイメージ

・石川県観光連盟デジタルマップ等の活用

石川県観光連盟ホームページで令和6年12月から公開されている「今行ける能登」デジタルマップ等を活用し、周遊モデルルートの設定・地図への表示、通れるマップや工事の進捗状況、能登の観光スポットの情報発信を行います。



観光デジタルマップ
(石川県観光連盟デジタルマップホームページ)

【その他の取り組み案】周遊モデルルートの設定 等

1-2. 周遊観光につながる取り組みの推進

ハード面

・周遊道路の復旧・整備

「能登半島絶景海道」の想定エリアにおける国道249号や県道大谷狼煙飯田線などの周遊道路に加え、観光資源へのアクセス道路についても復旧・整備を行い、周遊観光の促進を図ります。

・標識、案内看板へのロゴマーク等の記載

能登半島絶景海道内の標識や案内看板に記載することで、観光資源やルートの適切な誘導を行います。



標識・案内看板イメージ



能登半島絶景海道想定エリア

2-1. 施設の復旧・再整備と各種サービス機能の拡充

ハード面

・「道の駅」の機能強化

非常電源や雨水貯留槽、自立型トイレの整備などの施設の強靱化に加えて、ドローンや自動運転車など、様々な移動のモビリティ・ハブとしての活用・整備を推進します。



遠隔型自動運転実証実験
(写真:国土交通省)

・サイクリスト等サポート施設の整備

「道の駅」等の施設に、サイクリスト等の受け入れ環境(自転車やサイクルラック、工具、空気入れ等を貸し出す施設等)の整備を検討します。



サポート施設の様子(写真:石川県)

・震災遺構の展示

多くの方に被災状況や復興への歩みを伝えるため、集客施設である「道の駅」を中心とした震災遺構の展示を検討します。



「道の駅」に隣接する東日本大震災津波伝承館の展示物
(「道の駅」高田松原)

2-2. 「道の駅」のネットワークを活用した事業の展開

ソフト面

・「道の駅」リレーイベント開催

令和6年能登半島地震等による甚大な被害の実情と教訓を伝承するとともに、県内外から奥能登地域に人を呼び込み、被災地に新たな交流を創出し、能登の力強い復興を支援することを目的に、北陸管内の「道の駅」を対象としたリレーイベントを開催します。

【開催状況】

第1弾として、4月26日から道の駅「千枚田ポケットパーク」及び「めぐみ白山」でリレーイベントを実施しました。

千枚田ポケットパークにおいては、能登半島絶景海道の魅力を伝えるポスター掲示を実施したほか、期間中は輪島塗の箸や千枚田で昨秋収穫した米のおにぎりなどが販売されました。

めぐみ白山においては、能登半島絶景海道の魅力を伝えるパネル展示と能登半島地震の復興遺物の展示のほかに、道の駅7周年感謝祭が同時に開催されました。

両道の駅とも、ゴールデンウィーク中の開催ということもあり、大いに賑わったイベントとなりました。順次他の道の駅でも開催していきます。

・道の駅「千枚田ポケットパーク」(令和7年4月26日～5月6日)



ポスターの掲示



にぎわいの様子

・道の駅「めぐみ白山」(令和7年4月26日～5月10日)



震災遺物の展示



にぎわいの様子

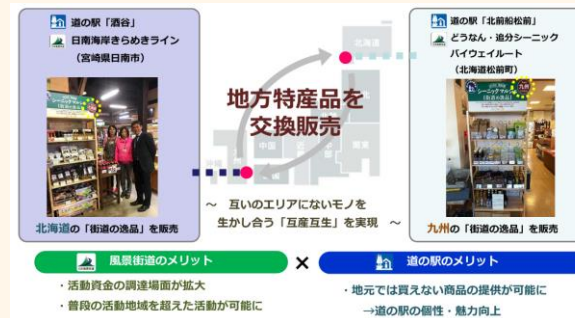
・特産物の販路開拓

「道の駅」や日本風景街道のネットワークを活用し、地方特産物の販路開拓に向けた取り組みを支援します。

奥能登絶景海道では、全国の道の駅へ復興支援カレンダー2025を販売しました。



復興支援カレンダー



特産物の販路開拓イメージ(出典:国土交通省)

3-1. 安全・安心・快適な自転車の走行に向けた環境整備

ソフト面

・多言語版ルートマップの作成

外国人利用者への対応や国外への情報発信強化、ナショナルサイクルルート指定に向けて、英語に加えて中国語(繁体字)等の多言語版ルートマップを作成します。

いしかわ里山里海サイクリングルート
英語版ルートマップ(写真:石川県)



ハード面

・自転車通行空間の整備

自転車の通行幅員の確保や分かりやすい案内表示など、自転車の快適な走行環境の整備を推進します。



矢羽根型路面標示
(加賀温泉駅前)



路面標示によるルート案内
(七尾市)



ルート案内看板
(羽咋市)

3-2. 魅力的なサイクリングエリアの形成

ソフト面

・サイクルスポーツイベント(ツール・ド・のと等)の支援

震災後、規模の縮小や中止を余儀なくされている、ツール・ド・のとを代表とする能登地域の各種サイクルスポーツイベントの再開や更なる賑わいに向けて支援します。



ツール・ド・のと

トライアスロン
珠洲大会



(写真：石川県観光連盟)

・サイクルトレインの支援

サイクリングを目的に能登を訪れる方を対象としたサイクルトレインの実施について、鉄道会社の取り組みを支援します。



北陸鉄道 サイクルトレイン
(写真：石川県)



富山地方鉄道 サイクルトレイン(土日祝運行)
(写真：とやまサイクルナビ)

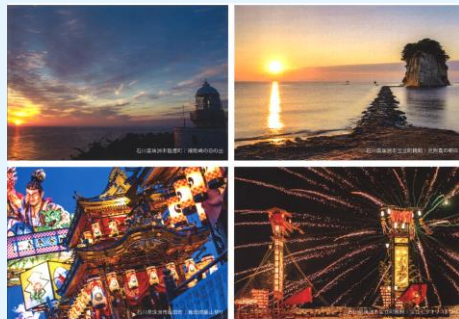
【その他の取り組み案】 いしかわ里山里海サイクリングルート of ナショナルサイクルルート指定
を目指した取り組み(基幹ルートの指定等) 等

4-1. 震災や復興に向けた取り組みを伝える海道の整備

ソフト面

・オリジナルグッズの企画・販売

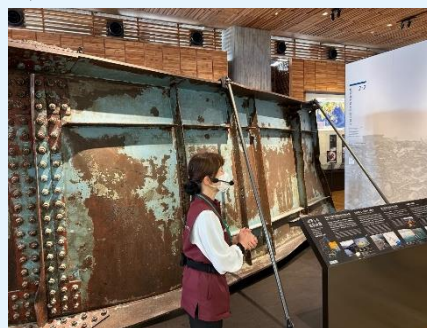
能登半島絶景海道の魅力発信や活動資金の確保に向けて、ロゴマーク等を活用したオリジナルグッズの企画・販売を支援します。



奥能登岬みちづくり協議会によるオリジナルグッズの販売
(写真：奥能登岬みちづくり協議会)

・観光ガイド(震災の語り部)等による震災の記憶の伝承

震災遺構の紹介や震災当日この場所で何が起こったのかを伝える案内ガイドの配置、ガイドツアーなど、震災から復興への歩みが感じられる取り組みを支援します。



震災語り部によるガイドの様子
(岩手県 高田松原津波復興記念公園)

4-1. 震災や復興に向けた取り組みを伝える海道の整備

ソフト面(続き)

・トキをシンボルとした地域活性化の推進

2026年度能登地域でのトキ放鳥に向けて、生息環境の整備促進やトキとの共生にむけた社会環境の整備を支援します。

また、トキ放鳥を契機とした地域活性化に向けて、トキツーリズムなど交流人口の拡大に資する取り組みを支援します。



トキ

(写真: 石川県創造的復興プラン)

ハード面

・能登半島国定公園の拡張支援

震災によって新たに出現した海岸隆起や新たな絶景を地域資源として、それらの利活用を促進します。

また、能登半島国定公園の拡張などを通じて、能登地域における生物多様性の保全に向けた取り組みを支援します。



能登半島国定公園のエリア
(出典: 国土情報ウェブマッピングシステム)

【その他の取り組み案】 絶景を眺望できるパーキング等の整備 (再掲) 等

4-2. 地域住民等の多様な主体と連携した取り組みの展開

ソフト面

・各種団体との協力体制構築

能登半島絶景海道の活動の活性化及び活動の後継者や将来の担い手確保・新たな日本風景街道の登録に向けて、能登地方の地域活動団体との協力体制を構築します。



奥能登岬みちづくり協議会（珠洲市）活動の様子
（写真：奥能登岬みちづくり協議会）

・復興イベントの開催

サイクリングイベントなど、能登半島絶景海道の魅力を全身で感じられるイベントの企画・開催を地域の団体と連携し推進します。



富山から石川へ復興応援ライド（開催日：令和7年4月20日）

【その他の取り組み案】 民間企業との連携による新たな取り組みの推進

ハード面

標識、案内看板へのロゴマーク等の記載（再掲） 等

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 能登地域のニーズと取り組みの方向性 | P 1 ~ 1 2 |
| (2) 考えられる取り組み (案) | P 1 4 ~ 2 4 |
| (3) 取り組みスケジュール (案) | P 2 6 ~ 2 7 |

(3) 取り組みスケジュール(案)

○令和7年度の取り組みスケジュール(案)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
能登の魅力を 「ぐるっと周遊」	新たな絶景、震災遺構の発掘（能登絶景美岩の選定）			
	能登半島絶景海道キャッチフレーズ・ロゴマークの設定		標識・案内看板へのロゴマーク等の記載	
	ドローン デモフライト			
	今しか見られない能登ツアー開催支援			
	石川県観光連盟デジタルマップ等の活用			
	周遊道路の復旧・整備			
人が集まる 「道の駅」へ	「道の駅」リレーイベント開催			
	特産物の販路開拓			
能登を自転車で ライド！		ツール・ド・のと400 開催支援		ツール・ド・のと400 次年度開催に向けた検討
	いしかわ里山里海サイクリングルートのナショナルサイクルルート指定を目指した取り組み			
	サイクルトレインの支援			
風景街道が “おもてなし”	復興イベントの開催			
	各種団体との協力体制構築に向けたヒアリング			
	オリジナルグッズの企画・販売、奥能登絶景海道カレンダー2026の発行			
	能登半島絶景海道のルート選定			
	国定公園拡張に向けた関係機関との協議調整、地元調整			

(3) 取り組みスケジュール(案)

○中長期スケジュール(令和8年度以降)で実施予定の取り組み施策(案)

		令和8年度以降実施予定取り組み施策(案)
能登の魅力を 「ぐるっと周遊」	ソフト面	・今しか見られない能登ツアー開催支援継続 ・石川県観光連盟デジタルマップ等の活用継続 ・奥能登国際芸術祭の開催支援 ・周遊モデルルートの設定 ・震災前後を比較できるコンテンツの検討
	ハード面	・絶景を眺望できるパーキング等の整備 ・奥能登「空の駅」の整備支援 ・周遊道路の復旧・整備継続 ・標識、案内看板へのロゴマーク等の記載継続
人が集まる 「道の駅」へ	ソフト面	・特産物の販路開拓継続
	ハード面	・「道の駅」の機能強化 ・サイクリスト等サポート施設の整備 ・震災遺構の展示
能登を自転車 でライド！	ソフト面	・多言語版ルートマップの作成 ・サイクルスポーツイベントの支援 ・サイクルトレインの支援継続 ・いしかわ里山里海サイクリングルートのナショナルサイクルルート指定を目指した取り組み継続
	ハード面	・自転車通行空間の整備 ・サイクリスト等サポート施設の整備(再掲)
風景街道が “おもてなし”	ソフト面	・オリジナルグッズの企画・販売継続 ・観光ガイド(震災の語り部)等による震災の記憶の伝承 ・トキをシンボルとした地域活性化の推進 ・各種団体との協力体制構築継続 ・復興イベントの開催継続 ・民間企業との連携による新たな取り組みの推進
	ハード面	・能登半島国定公園の拡張支援 ・絶景を眺望できるパーキング等の整備(再掲) ・標識、案内看板へのロゴマーク等の記載継続(再掲)